

【科目区分 教育の基礎的理解に関する科目等】

【授業科目名 教育原論】

「教育原論」授業評価報告

教育学部教育臨床講座・班婷

1. 授業の基本情報

- ・開講日時：2023年度前期水曜日2時限目
- ・受講者数：174名（主に教育学部2年生）
- ・授業概要：本授業では、①教育の基本的概念や本質、目標、②子どもや教育に関わる様々な思想、③教育や学校の歴史について学修し、歴史上の事例や海外の事例を検討することで、教育に関わる基本的知識の理解を目指している。加えて、現代の教育制度や政策の動向、子どもを取り巻く諸問題について考える機会を提供している。

・授業スケジュール：

- 第1回 オリエンテーション：「教育」とは何か
- 第2回 教育の本質と目標、基本的概念
- 第3回 子どもに関わる教育思想
- 第4回 学校や学習に関わる教育思想
- 第5回 近代教育制度の成立と展開①：西洋編
- 第6回 近代教育制度の成立と展開②：日本・東洋編
- 第7回 大正新教育の理論と実践
- 第8回 戦後の教育改革
- 第9回 日本の教育事情、教育政策の動向
- 第10回 世界の教育制度、教育政策の動向①：EU、アメリカ
- 第11回 世界の教育制度、教育政策の動向②：アジア
- 第12回 教育の現代的課題① 不登校とオルタナティブ教育
- 第13回 教育の現代的課題② 障害とインクルーシブ教育
- 第14回 学校教育を担う教師の職務と役割
- 第15回 まとめ

・授業の到達目標と関連するDP

本授業の到達目標は、次の4項目である。

(1) 教育の基本的概念や本質等について理解している。

(2) 教育や学校に関わる思想や歴史を理解している。

(3) 教育の現状や課題を歴史的な視点から説明できる。

(4) 教育の課題について自分の考えを述べることができる。

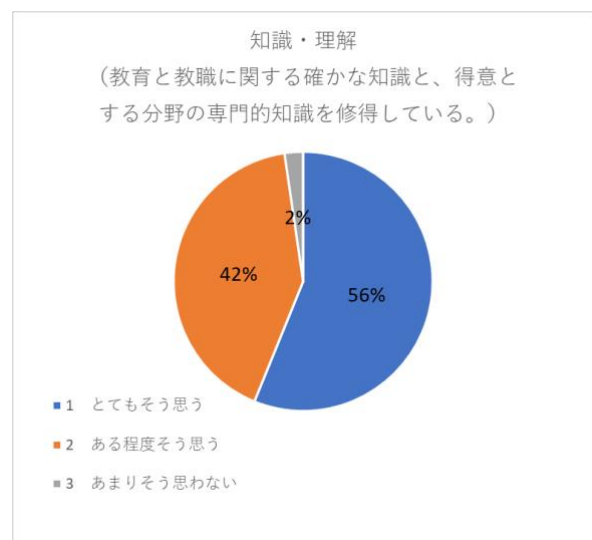
本学部のディプロマ・ポリシー（DP：卒業時の到達目標）のうち関連する項目は、

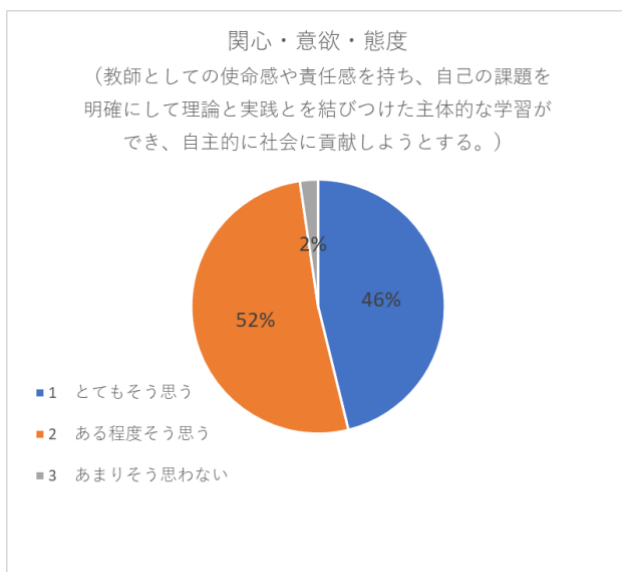
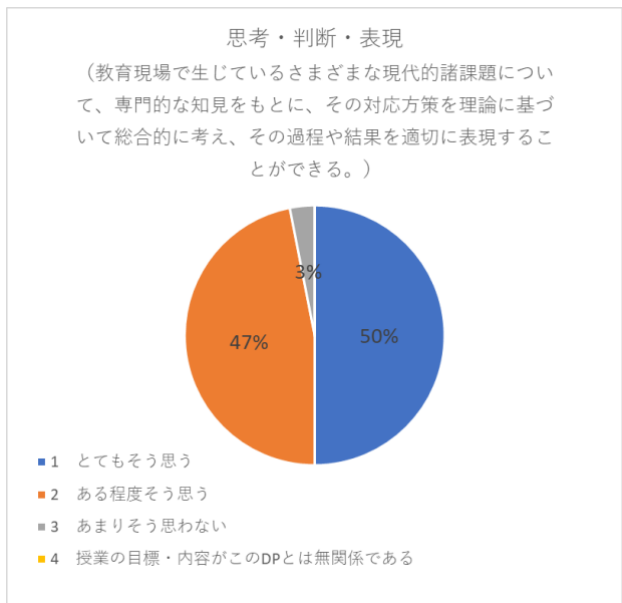
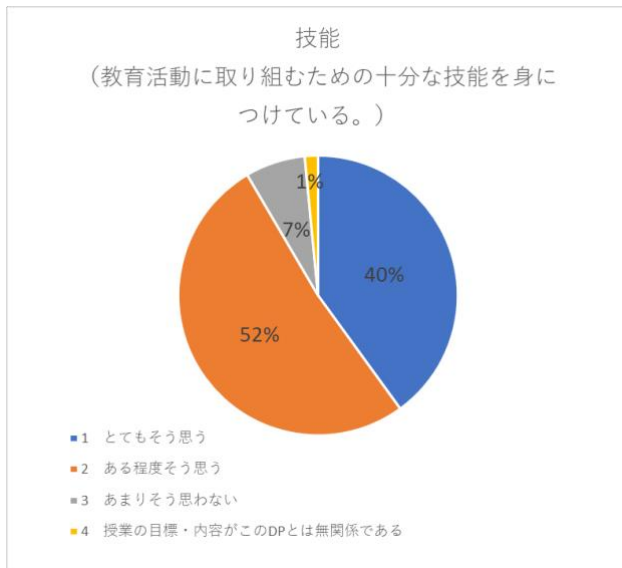
「1）教育と教職に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している。

（知識・理解）」及び「3）教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方策を理論に基づいて総合的に考え、その過程や結果を適切に表現することができる。（思考・判断・表現）」を想定している。

2. 授業評価について～DP対応調査の結果から～

授業評価の1つの基準として、教育コーディネーター会議による「授業内容とディプロマ・ポリシー（DP）の対応に関する調査」を用いることにした。回答者数は130名であり、その結果は以下の通りである。





上記結果からわかるように、9割以上の受講生は、「知識・理解」、「技能」、「思考・判断・表現」、「関心・意欲・態度」の4つの項目において、一定程度の資質・能力が身についたと感じる。

また、上記アンケートのほかに、本授業では毎回自由記述アンケートを設けており、授業に対する感想や要望、意見をまとめている。そのアンケートから以下の感想が得られた。

- ・制度や歴史について学ぶことは難しいし、理解しにくいことですが、分かりやすく説明していただいたことで頑張れました。
- ・先生の授業は、具体例や写真、グラフなどもスライドに含まれていたり、とても分かりやすく楽しかったです。
- ・毎週講義の初めに先週のフィードバックとして学生の意見に触れてくれているのが嬉しいです。

教育原論の内容、とりわけ教育の歴史に関する内容は、現在の学校教育に直結するものばかりでなく、学生が「役に立たない」、「つまらない」という印象を抱くことが一般的である。本授業では、学生が関心を持って積極的に授業に参加できるよう、多様な教材を用いる等の工夫を行った。それらに一定の効果があつたと思われる。

3. 授業の課題

本授業は、多数の学生が一斉に受講するものであるため、受講生一人ひとりに合った、いわゆる個別最適な学習のサポートが十分にできていないと考える。この点については今後の課題としたい。